

日立電線スイッチングハブ

ApresiaLightGM シリーズ

Ver. 1.05.00

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2013年6月26日	新規制定

Ver. 1.05.00 リリース情報(2013年6月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

○ 機能追加

APLGM-10500-RC001

内容 WEB-UI において、以下の機能を追加しました。

- ・Environment 表示機能 (FAN 及び 温度状態の表示)
- ・PoE recover_mode 機能 (FAN 及び 温度異常による PoE 給電復旧モードの指定)

本機能は、ApresiaLightGM シリーズの PoE 機種で対応します。

関連 -

APLGM-10500-RC002

内容 WEB-UI において、以下の機能を追加しました。

- ・省電力機能 (Link Down Power Saving 及び Cable Length Detection 対応)
- ・Port LED のテスト点灯点滅機能
- ・簡易自己診断テスト結果の表示機能

本機能は、ApresiaLightGM シリーズの全機種で対応します。

関連 -

APLGM-10500-RC003

内容 MAC/WEB 認証機能において、リンクダウンを伴わない同一装置内ポート間のローミング機能を追加しました。

本機能は、ApresiaLightGM シリーズの全機種で対応します。

関連 -

○ 仕様変更

APLGM-10500-RC004

内容 PoE 機能において、ポート給電上限値の初期値設定を Class Base (受電機器の PD クラスに応じた上限値のポート割り当て) から User Define (ユーザーが指定した上限値 <初期設定値 31.2W> のポート割り当て) に変更しました。

関連 -

APLGM-10500-RC005

内容 PoE 機能において、システム給電総量の算出方法を各ポートの給電上限値の合計から実際に使用している消費電力を合計して算出する方法に変更しました。

また、給電可能な残量を表示するようにしました。

関連 -

○ 修正

APLGM-10500-RC006

現象 パケットストーム制御 (Traffic Control) の shutdown モードにおいて、ストームを検知した時に countdown 時間を待たずにポートがシャットダウンする問題を修正しました。

関連 APLGM-10400-ER001

APLGM-10500-RC007

現象 コンフィグファイルの TFTP ダウンロードにおいて、ログインバナー情報が上書きされない問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10500-RC008

現象 ポート説明 (port description) でコメント文字列を入力した場合、設定保存後に再起動すると文字列の前後に『”』が付与される問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10500-RC009

現象 MAC 認証数が 60 端末を超えた状態で、さらに無通信によるエージアウトが発生する端末がある場合、設定したエージアウト時間より長く (最大 2 倍) かかる問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10500-RC010

現象 装置起動から約 497 日が経過している状態で、システム日時を設定 (time コマンドまたは SNTP 機能) した場合、設定日時より約 497 日先を誤表示する問題を修正しました。

約 497 日経過後にシステム日時を再設定しなければ、本問題は発生しません。

関連 -

APLGM-10500-RC011

現象 SNMP マネージャより snmpwalk による MIB の一括取得をした場合、2 回目以降からの EtherLike-MIB (OID 1.3.6.1.2.1.10.7) が取得できない問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10500-RC012

現象 ベンダー独自トラップにおいて、SNMPv1 generic-trap のタイプ値が enterprise specific (6) で送信するところ unknown (7) で送信される問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10500-RC013

現象 RMONトラップにおいて、risingAlarm 及び fallingAlarm で送信される OID を修正しました。

risingAlarm (OID 1.3.6.1.2.1.16.0.1)

fallingAlarm (OID 1.3.6.1.2.1.16.0.2)

関連 -

○ 注意事項

APLGM-10500-NT001

対象 ApresiaLightGM110GT-PoE 及び ApresiaLightGM124GT-PoE において、
Ver. 1.04.00 から Ver. 1.05.00 以降にバージョン変更される方
Ver. 1.05.00 以降から Ver. 1.04.00 にバージョン変更される方

対応 ファームウェア更新後の初回起動時、PoE Controller アップデートのため起動時間が通常より『約 10 分』ほど長くなります。起動が完了するまで装置電源を切らないで下さい。

[起動画面例]

Boot Procedure

V1.00.01

Power On Self Test 100 %
MAC Address : 00-40-66-58-B5-2C
Please Wait, Loading V1.05.00 Runtime Image 100 %

ここから、PoE Controller アップデートの開始

¥

Clear firmware for poe controller..... OK
Reboot POE chip..... OK
Wait POE chip enter BOOTROM mode..... OK
Update firmware for poe controller..... OK
Save firmware for poe controller..... OK

ここまで、PoE Controller アップデートの終了

以下表示で、装置起動の完了

Press any key to login...

Apresia は、日立電線(株)の登録商標です。

バージョン	対象機器
1.00.01 1.01.00 1.02.00 1.03.00 1.03.01	ApresiaLightGM124GT-SS ApresiaLightGM118GT-SS ApresiaLightGM110GT-SS
1.04.00 1.05.00	ApresiaLightGM124GT-SS ApresiaLightGM118GT-SS ApresiaLightGM110GT-SS ApresiaLightGM124GT-PoE ApresiaLightGM110GT-PoE